

企業最前線

BUSINESS FRONT LINE

「マネジメント代行」と 「実業」で地方を強くする

株式会社ハイブリッジマネジメント

(法人番号：3290001103803)

成長企業向けのコンサルティングを手がける(株)ハイブリッジマネジメント(福岡市博多区)は、2026年3月に秋田支店(秋田市南通)を開設する。同社が掲げる理念は「地方から、日本の企業を強くする」。九州と東北という日本の両端を起点に、経営の知見と実行力をつなぐ“架け橋”となり、地方企業の持続的成長を支援する構えだ。秋田支店の開設を通じ、地方企業のマネジメント高度化と経営基盤の強化を後押ししていく。

同社の主力サービスは、評価制度構築や人材育成にとどまらず、経営会議への同席、管理職指導、意思決定支援などを含む「マネジメント代行サービス」。経営者の右腕として実務に深く関与し、組織運営そのものを担う点に特徴がある。

実業リスクを背負う実践型コンサル会社

同社の特徴は、コンサルティングに加え、自社で実業を運営している点にある。リユース店舗運営(FC)や沖縄での民泊事業への参入など、実際に人材採用・店舗運営・数値管理といった経営リスクを自社で引き受けてきた。「机上の理論ではなく、実業の現場で通用するマネジメントのみを提供する」という方針のもと、成功事例だけでなく失敗や改善のプロセスも含め、支援先企業に還元している。こうした姿勢から、当社の支援は単なる助言型にとどまらず、成果責任を重視する実行支援型コンサルティングとして評価を高めている。

代表自らが常駐し、九州企業の誘致も実現

秋田支店の立ち上げにあたっては、代表の高橋氏が自ら現地に常駐し、地域企業との関係構築を進めていく。高橋氏は秋田市出身。東京および九州でコンサルタントとしてキャリアを積んだ後、地方企業の組織課題に向き合ってきた。「人材不足や後継者問題を抱える地方企業では、戦略以前に“組織が回らない”ケースが多い。マネジメントの不在こそが、成長の最大のボトルネックだ。」と指摘する。

秋田支店では、本業のコンサルティングサービスの提供に加え、『九州と東北をつなぐ』事業展開にも取り組む。すでに、当社クライアント先で

障がい者福祉事業を運営する佐賀県の企業の秋田県誘致に成功。2026年5月には、秋田市牛島地区の商業施設に放課後等デイサービスの開設が決定しており、地域雇用の創出にも貢献する。秋田県と佐賀県は戊辰戦争以来、縁が深い関係である。



代表取締役社長 高橋正大氏
(秋田市出身)

堅調な業績と連携による支援体制構築へ

同社は創業2期目にして、売上高・利益ともに前期比約3倍成長と、堅調な業績推移を示している。金融機関からの評価も高まり、取材等を通じて情報発信の機会も増えている。

今後は秋田支店を拠点に、金融機関や士業、医療福祉、建設、不動産、リユースなどの事業者との連携を進め、経営改善のみならず、新規事業創出や事業承継支援にも取り組む考えだ。

「結果に責任を持つ支援」を地方へ

「地方企業に必要なのは、聞こえの良い理論ではなく、実行できる仕組み。そのために、我々自身もリスクを取り続ける。」と語る。実業とコンサルティングを両輪とする同社の取り組みは、地方企業支援の新たなモデルとして、今後の動向が注目される。

会社概要

商号：株式会社ハイブリッジマネジメント
TDB企業コード：071064760
所在地：福岡市博多区博多駅前3-9-1
大賀博多駅前ビル6F
代表：高橋 正大氏
電話：092-710-4446
設立：2023年11月
資本金：1,000万円
事業内容：経営&マネジメント代行、コンサル